

センター試験の受験票到着！

本日、各クラスでセンター試験の受験票が配布されます。いよいよ本番が近付いてきたという感じですね。君たちの試験会場は、芝浦工業大学大宮校舎（昨年の「共栄大学」ではありませんので注意してください）です。受験票と一緒に配られる『受験上の注意』も非常に重要です。詳細に注意事項が書かれていますので、しっかりと熟読しましょう。

高校最後の定期考査が終わり、いよいよセンター試験初日までひと月余り。ここまで来たらジタバタしてはいけません。これまで取り組んできた各科目の教材を信じて、何度も何度も繰り返して完璧な知識を身に付けましょう。例年、受験に失敗する生徒の多くは、この時期に焦ってしまい、新しい教材や予備校の直前講座にすがりつこうとします。肝に銘じてください。受験で君を助けてくれるのは、付け焼刃のあやふやな知識ではなく、何度も繰り返して身に付けた完璧な知識のみですよ。

受験当日までのスケジュール&ポイント①

1. 入試の流れを俯瞰する

今後の一般入試には、大きく分けて4つの山場があります。

- ①1月13日（土）&14日（日）のセンター試験
- ②1月下旬～2月中旬の私立大入試（センター試験利用入試を含む）
- ③2月25日～3月中旬の国公立大2次（前・中・後期）試験
- ④3月中旬頃までの私立大（2期）入試（センター試験利用入試を含む）

2. 受験プランを立てる

今日から始まる二者面談を通して、受験プランを確定させます。大きなポイントとなるのは、やはり「センター試験」です（受験業界では「一次が万事」ともいう）。国公立大学受験生はもちろん、私立大学志望者にとっても「センター利用入試」など、その重要性は高まってきています。したがって、受験プランを立てるときは、1月13&14日のセンター試験を主軸にすることが大切です（近年のセンター利用方式では、「押さえ校」を確保するだけでなく、上位志望校にチャレンジする姿勢も重要です ⇨ 多くの私大では2月の一般方式ほどには合格者数を絞り込んでいない）。その上で、各大学の入試日程と入試方法を確認し、無理・無駄のない効率の良いスケジュールを組み立てていきましょう。

3. 募集要項を早めに手に入れる

各大学の募集要項は既に発表されています。志望校の募集要項をできるだけ早く手に入れ、余裕を持って受験料の振り込みや願書の提出をしましょう。募集要項の入手方法には「大学のホームページからDL」「大学に郵送等で申し込む」「大学の窓口で直接購入」「書店で購入」等があります。一昔前と異なり、ここ数年はWeb出願が主流となりつつあります。

4. 募集要項を精読する

募集要項を入手したら、必要書類がすべてそろっているかどうか確認しましょう。その上で、募集要項に記載されている事項をひとつひとつ丁寧にチェックしながら熟読しましょう。特に、入試や出願書類に関する記述は大事な箇所にアンダーラインを引きながら読む位の慎重さが必要です。

5. 出願書類を準備する

出願書類のポイントは、入学願書、調査書、入学検定料（受験料）の3点です。

- ①入学願書：必ず自分で入力（記入）しましょう。募集要項にある入力（記入）例にしたがって、記入の場合は一度鉛筆で薄く下書きをしてから、指定された筆記用具で書きましょう。
- ②調査書：現時点で受験を考えている大学の必要数はそろえましょう。交付願は提出済みですが、調査書の発行には時間がかかるので、追加が必要な場合は早めに担任に申し出ること。
- ③入学検定料（受験料）：銀行等からの振り込み、郵便振替、郵便為替など、大学指定の納入方法を確認しましょう。大学によってはコンビニで支払えるところもあります。いずれにしても募集要項でしっかりと確認しましょう。

6. 入学願書を提出する

受験料の払い込みが終わったら、いよいよ出願です。主な方法として、①Web出願（大学のホームページの専用画面上で出願手続きを行う）、②郵送による出願、③大学窓口出願の3つがあります。手続きは大学ごとに異なりますので、必ず確認してください。

7. 受験票を確認する

本日配布されるセンター試験の受験表を確認しましょう。受験票・写真票の写真欄には写真（4cm×3cm）を添付し、自署欄には本人が黒ボールペンで氏名を記入します。成績請求票は、国公立大用が推薦・AO・前期日程・後期日程・公立大中期日程・2次募集の各1枚（計6枚）、私立大・公私立短大用が18枚の総計24枚。これは各国公立&私立大に出願時に出願校に提示するもので、各大学はこの請求票によって大学入試センターから受験生本人の成績を受領します。

国公立大の2次（個別）試験、私立大一般入試の受験票には、氏名・受験番号・志望学科・試験日・試験場などが記載されています。これらの記載内容が正しいかどうかは速やかに確認しましょう。また、受験票には受験場の注意点が書かれている場合が多いので、こちらも必ず確認すること。わからないことがあれば、各自で大学に電話で問い合わせをしてください。

8. センター試験は1月13日&14日

*** センター試験 各科目の試験実施時間 ***			
13日（土）		14日（日）	
9:30 - 11:40	地公2科目受験	9:30 - 10:30	理科①(基礎2科目受験)
10:40 - 11:40	地公1科目受験	11:20 - 12:20	数学①(I, IA)
13:00 - 14:20	国語	13:40 - 14:40	数学②(II, IIB)
15:10 - 16:30	外国語(筆記)	15:30 - 17:40	理科②(発展2科目受験)
17:10 - 18:10	リスニング(英語のみ)	16:40 - 17:40	理科②(発展1科目受験)

注)「地歴公民」「理科②」で2科目受験の場合は、130分間座りっぱなしとなります。

☆ 第1日目は9:30～18:10で全8時間40分、第2日目は9:30～17:40で全8時間10分と、両日とも超ハードスケジュール。体力・精神力の勝負になります。

☆ 第1日目の英語リスニングでは遅刻は認められません。模試で経験済みとはいえ、一般の学科試験とは異なる形式のテストですので、事前に『受験案内(p.39-45)』『受験上の注意(p.11-13)』を熟読して、リスニング試験の進め方をよく確認しておくこと。

当日の時刻は上記の通りです。一目見て、通常の模試に比べて試験と試験の間の時間が長いことに気付くでしょう。休み時間の過ごし方も、試験の成否を左右する重要なポイントです（12月23&24日のセンター演習会で一足早く体験しましょう！）。（②は次号で掲載予定）